

# 平成30年度 かつらぎ町行財政対策協議会 評価対象事業

## ●平成29年度決算主要施策等

事業番号	事業名	評価日程(予定)	担当課
1	子ども医療費支給事業	第1回(10月)	健康推進課
4	【地】高野山麓ツーリズムビューローDMO推進事業	第1回(10月)	産業観光課
5	【地】「万葉の里」観光拠点整備事業	第1回(10月)	産業観光課
2	観光施設等管理事業	第2回(11月)	花園地域振興課
3-1	地域振興施設管理事業【かつらぎ西PA】	第2回(11月)	産業観光課
3-2	地域振興施設管理事業【国道480号沿地域振興交流施設】	第2回(11月)	産業観光課

【地】… 「地方創生推進交付金事業」「地方創生拠点整備交付金事業」地方版総合戦略の策定と、これに関する優良施策の実施を支援することを目的とした国が交付金を交付する事業

事業番号	事業名	町自主事業
1	子ども医療費支給事業	本年度決算 47,525,392円
(款) 3. 民生費	(項) 2. 児童福祉費 (目) 4. 子ども医療費	前年度決算 54,286,787円
健康推進課 保険年金係 (やすらぎ対策課 保険係)		決算書 (増減) △ 6,761,395円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第3節 支え合うまちづくり	第1 出産・子育て環境の充実

内容	<p>中学校卒業までの子どもが医療保険で医療の給付を受けた場合の自己負担に係る費用について助成します。</p> <p>【平成27年度までの対象範囲】 0歳～12歳に達する日以後の最初の3月31日まで</p> <p>【平成28年度からの対象範囲】 0歳～15歳に達する日以後の最初の3月31日まで</p> <p>[事業期間] 平成18年度 ～</p>	
目的	<p>かつらぎ町子ども医療費給付条例に基づき、子どもの疾病の早期発見及び早期治療を促進するとともに、保護者の経済的負担を軽減し、子どもの健全な育成及び子どもを生き育てることができる環境づくりを推進します。</p>	
実績	活動	<p>個別通知およびホームページにて制度の周知を行いました。 受給資格証を交付し、県内医療機関は現物給付。県外医療機関は、申請(領収書添付)により給付しました。</p>
	成果	<p>安心して子育てできる環境づくりを進め、子育て世代の定住を促進しました。</p>
課題	<p>平成31年4月から子ども医療費の高校卒業(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までの拡充が決まっており、そのための準備に取り組む必要があります。</p>	

経費	子ども医療費(県補助分)	21,170,901円
	子ども医療費(単独分・未就学児)	316,580円
	子ども医療費(学齢児童生徒)	24,157,979円
	その他事務費	1,879,932円
	(計)	<b>47,525,392円</b>
財源	乳幼児医療費補助金(県補助、23,518,800円×1/2)	11,759,400円
	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	20,200,000円
	一般財源	15,565,992円

関連 成果 指標	指標名	単位	27年度 【実績】	28年度 【実績】	29年度 (目標)	29年度 【実績】
	子ども医療対象者のうち、1ヶ月当たり医療費総額が100,000円以上ある者の年間延べ人数	人	84	93		71

担当 課 自己 評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	子どもの疾病の早期発見及び早期治療を促進するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。
	②有効性	概ねある	安心して子育てができる環境づくりを進め、子育て世代の定住の促進を図る。
	③効率性	概ねある	一部負担金を子ども医療費で無償化することにより、医療機関への早期受診が促され、疾病の重症化や長期化を予防できるとともに、結果医療費の抑制が図られている。

### < 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業	
4	高野山麓ツーリズムビューローDMO推進事業	本年度決算	999,000円
(款) 7. 商工費	(項) 2. 観光事業振興費	前年度決算	0円
	(目) 1. 観光事業振興費	(増減)	999,000円
産業観光課 商工観光係 (産業観光課 観光係)		決算書	
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	
		第3 観光・サービス業の育成	

内容	<p>かつらぎ町を含む高野山麓地域の広域観光パンフレット(日本語版及び英語版)を作成します。</p> <p>[事業期間] 平成29年度～</p>		
目的	<p>平成29年10月31日、高野山麓地域における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図るため、地域連携DMO「一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー」が設立され、かつらぎ町は特別会員として参画します。</p> <p>地域連携DMOは事業の柱として、「観光誘客に向けた国内外セールスプロモーション事業」を掲げており、今年度は広域観光パンフレットを作成することで観光客へ情報発信を行います。</p>		
実績	活動	<p>高野山麓への訪問に関心のある層を対象に、魅力発信と具体的な旅行イメージを喚起するとともに、潜在的な層にも併せて認知度を図る為、パンフレットを作成しました。</p> <p>かつらぎ町 英語版1万部(橋本市 日本語版1万部)</p>	
	成果	<p>今回パンフレットを作成し近隣市町の観光スポットを中心に配架しました。</p> <p>今後パンフレット中の観光資源を活用しながらモニター旅行や、旅行商品開発を行うこととしており、誘客につなげます。</p>	
課題	<p>交流人口の増加による地方創生実現にあたっては、多様化する旅行目的や、外国人観光客の増加によって変化している旅行者のマーケットに柔軟かつ的確に対応することが必要である。その為、各種データの収集・分析、観光資源の洗い出しからモデルコースの設定など、多様な関係者を巻き込んで明確なコンセプトをもった観光地域づくりに取り込むことが必要である。</p> <p>また、道路網の整備によって都市圏からのアクセスが向上しており、体験型観光やお土産品の開発など、観光客の滞在時間の延長につながる仕組みづくりが課題となっています。</p>		

経費	広域観光パンフレット作成業務委託料	999,000円
	(計)	999,000円
財源	地方創生推進交付金(国補助金、999,000円×1/2)	499,500円
	一般財源	499,500円

関連 成果 指標	指標名	単位	27年度 【実績】	28年度 【実績】	29年度 (目標)	29年度 【実績】
	観光客入込客数	人	843,702	1,058,090	-	1,300,748
	かつらぎ町内宿泊客数	人	34,931	41,682	-	43,159

担当課 自己 評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	交通網の整備により、かつらぎ町の観光人口は増加傾向にあるが、通過地点とならないよう広域的な情報発信、周遊ルートなどを作成し、地域内での滞在時間の延長を目指す。
	②有効性	大いにある	世界遺産を中心に、町内の歴史的、文化的なものや、フルーツ狩りなどの今ある観光資源をより魅力あるパッケージとして販売することにより地域内での消費拡大を図る。
	③効率性	大いにある	伊都・橋本地域を周遊するための情報の発信や、海外旅行者への誘客について広くPRするには、時間・人員がそれぞれの市町で必要となるが、広域的に行うことにより効率よく広くPRすることができる。

## < 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業
5	「万葉の里」観光拠点整備事業	本年度決算 69,417,241円
(款) 7. 商工費	(項) 2. 観光事業振興費 (目) 3. 「万葉の里」観光拠点整備事業	前年度決算 0円
産業観光課 商工観光係 (産業観光課 商工係)		決算書 (増減) 69,417,241円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり	第3 観光・サービス業の育成

内容	道の駅に併設しているレストランを広域幹線道路の整備により見込まれる交流人口を受入体制整備の一環として、近隣施設と一体となった地域の総合的な観光拠点の一部として整備します。
	運営者：一般社団法人 道の駅紀の川万葉の里 [事業期間] 平成28年度～平成29年度
目的	隣接する既存施設には、物産販売所や地域の観光案内スペースなどが設置されていますが、レストランが小さいため多くの観光客を受け入れられる環境が十分に整っていません。そのため、レストランの収容規模を増員することにより、団体客等の受け入れを可能にします。また、事業の規模を拡大することにより、地域における雇用機会の創出や地元産農産物の使用による農業振興、所得向上を図ります。
実績	活動 ○レストランの面積・席数 鉄骨平屋建 面積 188.75㎡ 席数58席
	成果 道の駅を地域の拠点とし、機能を高めるものであり、建物の2階にあり利用しにくい状態であったレストランを1階に移築することによりバリアフリー化が進み、より利用しやすい環境が整いました。 また、客席が増加したことにより団体客等の受け入れも可能となりより多くの来場者が利用できるものとなりました。
課題	今後もレストランを活用し地元農産物の消費拡大や滞在時間の延伸による消費増加を図り、地域活力の向上を図っていく必要があります。

経費	【繰越】	
	建築確認手数料	38,000円
	道の駅紀の川万葉の里レストラン建築工事設計監理業務委託料	3,758,400円
	道の駅紀の川万葉の里レストラン建築工事	55,177,200円
	道の駅紀の川万葉の里レストラン初度備品	9,671,141円
	水道加入分担金	772,500円
	(計)	<b>69,417,241円</b>
財源	【繰越】	
	地方創生拠点整備交付金(国補助、60,698,100円×1/2)	30,349,050円
	一般補助施設整備等事業債(借入金、返済額のうち町負担は50%)	30,300,000円
	一般財源(うち既収入特定財源、かつらぎ町地域食材供給施設整備基金繰入 6,350千円)	8,768,191円

関連 成果 指標	指標名	単位	27年度 【実績】	28年度 【実績】	29年度 (目標)	29年度 【実績】
	レストラン売上額	円	22,842,000	0	0	0
	仕入れ総額に対する地元食材購入費の割合	%	25	0	0	0
	レストラン利用者数	人	38,663	0	0	0

担当 課 自己 評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	道の駅紀の川万葉の里は、西部自治区の住民が中心になって運営されており、レストランの整備を行うことで多くの観光客が訪れ、地域産品の販売・消費に繋げる。
	②有効性	大いにある	今回のレストラン整備については、利用者の増加を図るだけでなく、地域の食材を利用して地域内消費の増加を図る。
	③効率性	大いにある	2階にあった食堂を1階に移動することにより、高齢者等が利用しやすくなるとともに、席数を増加させることによりバス利用者などの利便性がたかまる。

### < 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業
<b>2</b>	<b>観光施設等管理事業【はなぞの温泉「花園の里」】</b>	本年度決算 14,766,988円
(款) 1. 事業費	(項) 1. 事業費	(目) 1. はなぞの温泉「花園の里」運営費
花園地域振興課 地域振興係 (花園地域振興課 振興係)		前年度決算 12,996,771円
決算書		(増 減) 1,770,217円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり	第3 観光・サービス業の育成

【花園地域交流推進施設運営事業特別会計】

内 容	<p>花園地域交流施設(はなぞの温泉「花園の里」)を適正かつ円滑に管理するために、管理運営を指定管理により行います。</p> <p>【指定管理者】 株式会社 共立メンテナンス</p> <p>[事業期間] 平成28年度 ~</p>
	<p>民間事業者の能力を活用し、豊かな自然環境の中で地域交流拠点施設、健康の増進と健全な保養の場として地域内及び地域間の交流を推進し、福祉の向上と地域の活性化を図ります。</p>
実 績	<p>活動</p> <p>日帰り及び宿泊温泉施設として営業しました。土地所有者に借地料を支払いました。</p>
	<p>成果</p> <p>利用人数(H29.4.1~H30.3.31)</p> <p>宿泊 1,705人</p> <p>宴会 1,358人</p> <p>温泉 3,000人</p> <p>レストラン 1,877人</p> <p>合計 7,940人</p> <p>※H28【H28.7.28(オープン)~H29.3.31】4,014人</p>
課 題	<p>平成28年7月オープン以降着実に利用者を増やしています。しかし、繁忙期と閑散期が明確にあるため、閑散期における集客については、「お得な宿泊プラン」、「季節の宴会プラン」などを打ち出しPRしています。また繁忙期であっても台風や降雪等の荒天になるとキャンセルが多くなり、天候に大きく左右される点についても対応策を検討していく必要があります。</p>

経 費	修繕費	87,480円
	建物共済費	605,176円
	運営委託料	13,590,212円
	消防用設備改修業務委託料	54,000円
	借地料	430,120円
	(計)	<b>14,766,988円</b>
財 源	一般財源	14,679,508円
	建物共済保険金	87,480円

関連成果指標	指標名	単位	27年度【実績】	28年度【実績】	29年度(目標)	29年度【実績】
	利用客数	人	—	4,014	6,360	7,940

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	本町において数少ない宿泊のできる温泉施設であり、四季を通じ利用客で賑わいます。また地域防災の避難場所としても位置付けられている。
	②有効性	概ねある	世界遺産である丹生都比売神社や高野山からのアクセスがよく、京奈和自動車道及び480号線四郷トンネルが整備されたことにより施設の利便性がさらに高まっている。
	③効率性	概ねある	繁忙期において温泉部分が若干手狭であるため日帰り客の入浴に支障が出る場合がある。

### < 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業
3-1 3-2	地域振興施設管理事業	本年度決算 17,590,284円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費	(目) 7. 地域振興交流施設管理費	前年度決算 3,157,246円
産業観光課 農業振興係 (産業観光課 振興係)	決算書	(増減) 14,433,038円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	<p>京奈和自動車道かつらぎ西PA並びに国道480号沿地域振興交流施設の管理運営を指定管理により行います。</p> <p>【指定管理者】 かつらぎ西PA 株式会社 まちづくりかつらぎ 国道480号沿地域振興交流施設 株式会社 セイコーグループ</p> <p>[事業期間] 平成27年度 ~</p>				
目的	<p>かつらぎ西PAを京奈和自動車道に連結し、町内の農産物販売促進及び観光客の増加を目的とします。</p> <p>また、国道480号沿地域振興交流施設の整備により、本町の農産物販売及び加工、地域食材の提供並びに地域情報の発信を行い、都市と農村の交流を促進するとともに、農林水産物の6次産業化を推進し、産業の振興及び地域の活性化を図ります。</p>				
実績	<table border="0"> <tr> <td>活動</td> <td>かつらぎ西PA京奈和連結料、国道480号沿地域振興交流施設借地料 支払 国道480号沿地域振興交流施設第2駐車場整備 駐車台数 25台増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>           かつらぎ西PA 物産販売 レジ通過人数            H27年度 102,758人 H28年度 130,405人 H29年度 180,393人            国道480号沿地域振興交流施設物産販売 レジ通過人数            H28年度 4,153人(11月~3月) H29年度 189,812人         </td> </tr> </table>	活動	かつらぎ西PA京奈和連結料、国道480号沿地域振興交流施設借地料 支払 国道480号沿地域振興交流施設第2駐車場整備 駐車台数 25台増加	成果	かつらぎ西PA 物産販売 レジ通過人数 H27年度 102,758人 H28年度 130,405人 H29年度 180,393人 国道480号沿地域振興交流施設物産販売 レジ通過人数 H28年度 4,153人(11月~3月) H29年度 189,812人
活動	かつらぎ西PA京奈和連結料、国道480号沿地域振興交流施設借地料 支払 国道480号沿地域振興交流施設第2駐車場整備 駐車台数 25台増加				
成果	かつらぎ西PA 物産販売 レジ通過人数 H27年度 102,758人 H28年度 130,405人 H29年度 180,393人 国道480号沿地域振興交流施設物産販売 レジ通過人数 H28年度 4,153人(11月~3月) H29年度 189,812人				
課題	<p>京奈和自動車道が和歌山ICに連結、また、国道480号鍋谷峠トンネルが開通したことに伴い、施設の利用人数が増加しています。</p> <p>今後も、継続的に利用してもらえるようイベントの実施や施設の特色づくりが必要です。</p>				

	【国道480号沿地域振興交流施設管理費】	【京奈和自動車道かつらぎ西PA管理費】		
経費	簡易専用水道定期検査料	10,000円	消耗品費	2,376円
	建物共済費	590,751円	建物共済費	19,754円
	借地料	3,363,680円	京奈和自動車度連結料	196,845円
	諸用具借上料	112,104円		
	国道480号沿地域振興交流施設駐車場整備工事	7,455,780円		
	国道480号沿地域振興交流施設駐車場改修工事	2,170,800円		
	国道480号沿地域振興交流施設イベント広場コンセント設備工事	237,600円		
	国道480号沿地域振興交流施設駐車場看板設置工事	326,160円		
	国道480号沿地域振興交流施設駐車場用地費	300,000円		
	一の井水利組合負担金	35,640円		
国道480号沿地域振興交流施設駐車場物件補償費	2,768,794円			
	<b>小計</b>	17,371,309円	<b>小計</b>	218,975円
	<b>(計)</b>			<b>17,590,284円</b>
財源	かつらぎ西PA地域産品販売施設用地賃貸料			456,000円
	国道480号沿地域振興交流施設指定管理納付金			4,736,000円
	かつらぎ西PA地域振興施設指定管理納付金			1,564,000円
	一般財源			10,834,284円

関連成果指標	指標名	単位	27年度【実績】	28年度【実績】	29年度(目標)	29年度【実績】
	レジ通過人数	人	102,758	130,405	102,311	180,393

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	町内の農産物販売促進及び観光客の増加を目指すためのかつらぎ西PAを京奈和自動車道へ連結するために必要な費用。
	②有効性	概ねある	かつらぎ西PAを利用する人数は目標値を超えており、十分な成果が上がっている。
	③効率性	概ねある	国の土地評価に基づき算定されるもので、適正な費用と考える。

< 事業説明、質疑応答メモ >

関連成果指標	指標名	単位	27年度【実績】	28年度【実績】	29年度（目標）	29年度【実績】
	レジ通過者数	人	0	4,153	99,441	189,812

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	国道480号沿地域振興交流施設を維持することで、農産物販売や地域情報の発信、都市と農村の交流促進など、産業の振興及び地域の活性化を図るため必要な費用。
	②有効性	概ねある	施設を利用する人数は目標値を超えており、十分な成果が上がっている。
	③効率性	概ねある	駐車場工事については、設計基準に基づき費用算定を行っている。

< 事業説明、質疑応答メモ >